

# 令和3年12月期第2四半期 決算説明資料

株式会社sMedio

(東証マザーズ：証券コード3913)

<https://www.smedio.co.jp/>

令和3年7月30日（金）

本資料の無断複写、無断転用はしないで下さい

本資料の要因分析は、当社が適切と考える方法で実施している点、ご理解下さい。



Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.



|                    |      |
|--------------------|------|
| 1. 決算所感            | …P3  |
| 2. 連結業績概要          | …P4  |
| 3. 連結決算概要 (PL)     | …P5  |
| 4. 連結決算概要 (BS)     | …P6  |
| 5. 形態別連結売上高推移      | …P7  |
| 6. 連結営業利益・連結経常利益推移 | …P8  |
| 7. 連結CF            | …P9  |
| 8. 本資料の取り扱いについて    | …P10 |

本資料中の数値は、単位未満切捨てで表記しております。  
なお、端数処理の影響で、各表の項目の合計と合計欄が一致していない場合があります。

当第2四半期（1-6月）の業績（詳細は、次ページ以降参照）は、売上高が大きく減少した中でも営業黒字を確保できたとはいえ、年度計画に対する進捗度合いは芳しくありません。

7-12月の事業環境は1-6月に比べ回復が期待でき、加えて、費用構造の変化と原価・経費の見直しも継続しており、年度計画達成に向けて、第3四半期以降も営業黒字継続を目指してまいります。

| 事象                     | 状況(1-6月)            | 状況見通し(7-12月)                 | 7-12月への影響                  |
|------------------------|---------------------|------------------------------|----------------------------|
| 半導体不足                  | 不足感が拡大していた。         | 不足感は残り続けるが、拡大しない。            | 顧客製品の生産・出荷数の回復             |
| 製品種類の拡大<br>(4K/8Kテレビ)  | 顧客製品の出荷開始が想定より遅れた。  | 左記の出荷開始の遅れは解消済み。             | ロイヤリティ収入の対象製品拡大            |
| 製品種類の拡大<br>(PC・デジタル家電) | —                   | 当社製品の新規搭載が始まる。               | ロイヤリティ収入の対象製品拡大            |
| 建設AIサービス担当営業人員の採用      | 採用後、建設会社へのアプローチ数が増加 | アプローチした建設会社へ採用働きかけ強化と新たな受注獲得 | 建設業界への当社製品の知名度の向上とサービス収入確保 |
| 費用構造の変化                | —                   | タオソフトウェア社のれん償却完了             | 約9百万円の営業利益増効果              |

※例年8月に実施していましたが第2四半期決算の決算説明会を、本年は実施しませんので、代わりに、本ページで決算所感を記載しております。

## 2. 令和3年12月期 第2四半期 連結業績概要

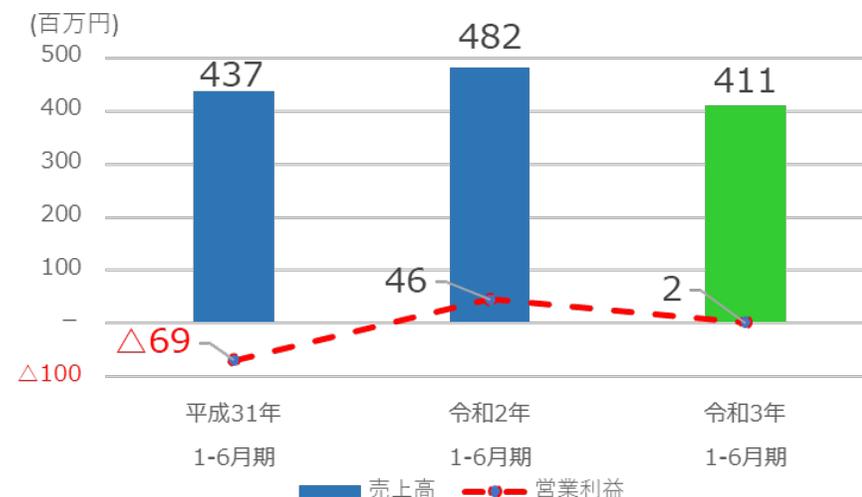
◆開発収入については前年同期に比べ開発案件規模が小さかったこと、ロイヤリティ収入については、一時的とみられる半導体不足による顧客製品の出荷数の落ち込みおよび当社新製品を搭載する顧客製品の出荷開始時期の後ろ倒し（3月が5月に）により、売上高は前年同期比71百万円の減収。  
 ⇒第3四半期以降には、4K/8Kテレビ向け新製品その他新製品による底上げ効果を想定している。

◆当第2四半期(1-6月)の連結営業利益は2百万円を計上。  
 ⇒前年同期比で減益となった要因は、売上高の減収であるが、前々年同期を下回る売上高で、黒字を計上できるほど、原価低減、経費節減の効果が出ている。

◆最終利益は、税金費用負担のため、11百万円の赤字となった。

(単位：百万円)

|      | 1-6月<br>実績 | 1-12月<br>計画 |
|------|------------|-------------|
| 売上高  | 411        | 1,034       |
| 営業利益 | 2          | 53          |
| 最終利益 | △11        | 36          |



### 新型コロナウイルス感染症の影響に関する前提

ワクチン接種による効果が十分に現れるには時間がかかると見込まれ、経済活動が正常化する時期は、第3四半期（令和3年7-9月）以降としている前提に変更はありません。

### 3. 令和3年12月期 第2四半期 連結業績概要 (PL)



単位：百万円

|                  | 平成31年<br>1-6月期 | 令和2年<br>1-6月期 | 令和3年<br>1-6月期 | 前年同期比 |         |
|------------------|----------------|---------------|---------------|-------|---------|
| 売上高              | 437            | 482           | 411           | △71   | △14.7%  |
| 売上原価             | 262            | 204           | 195           | △8    | △4.2%   |
| 売上原価率            | 59.9%          | 42.3%         | 47.5%         | 5.2p  |         |
| 売上総利益            | 175            | 278           | 215           | △62   | △22.5%  |
| 販管費              | 244            | 231           | 213           | △17   | △7.8%   |
| 営業利益             | △69            | 46            | 2             | △44   | △95.1%  |
| 営業利益率            | △15.9%         | 9.7%          | 0.6%          | △9.2p |         |
| 営業外収益            | 1              | 0             | 4             | 4     | 650.0%  |
| 営業外費用            | 0              | 0             | 0             | △0    | △100.0% |
| 経常利益             | △68            | 46            | 7             | △39   | △84.6%  |
| 特別利益             | -              | -             | -             | -     |         |
| 特別損失             | -              | 1             | -             | △1    | △100.0% |
| 税金等調整前当期純利益      | △68            | 45            | 7             | △38   | △84.1%  |
| 法人税等             | 1              | 21            | 18            | △2    | △12.4%  |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | △70            | 24            | △11           | △35   |         |

(売上高) 前年同期に比べ開発規模が小さくなったことおよび半導体不足の影響で当社ソフトウェア搭載のデジタル家電出荷台数が落ち込んだ影響で減収となった。

(販管費) 継続的な経費節減により、17百万円減少した。

(営業利益) 減収の影響が大きい中、営業利益は2百万円を確保した。

(最終利益) 税金費用の負担により、第2四半期では11百万円の赤字となった。

# 4. 令和3年12月期 第2四半期 連結決算概要 (BS)



単位：百万円

| 資産       | 令和元年<br>12月末 | 令和2年<br>12月末 | 令和3年<br>6月末 | 前期末比 |
|----------|--------------|--------------|-------------|------|
| 現金及び預金   | 631          | 806          | 909         | 102  |
| 売掛金      | 48           | 73           | 29          | △43  |
| 仕掛品      | 21           | 18           | 13          | △4   |
| 原材料及び貯蔵品 | 374          | 257          | 223         | △34  |
| その他      | 24           | 16           | 17          | 1    |
| 流動資産合計   | 1,101        | 1,172        | 1,193       | 21   |
| 有形固定資産   | 22           | 18           | 16          | △2   |
| ソフトウェア   | 14           | 9            | 7           | △2   |
| のれん      | 42           | 17           | 4           | △12  |
| その他      | 1            | 2            | 1           | △0   |
| 無形固定資産合計 | 58           | 28           | 13          | △15  |
| 投資その他資産  | 40           | 40           | 32          | △8   |
| 固定資産合計   | 120          | 88           | 62          | △25  |
| 資産合計     | 1,222        | 1,261        | 1,256       | △4   |

| 負債・純資産    | 令和元年<br>12月末 | 令和2年<br>12月末 | 令和3年<br>6月末 | 前期末比 |
|-----------|--------------|--------------|-------------|------|
| 買掛金       | 20           | 10           | 10          | 0    |
| 未払法人税等    | 7            | 15           | 12          | △2   |
| 未払費用      | 53           | 60           | 66          | 6    |
| 賞与引当金     | 2            | 2            | 5           | 2    |
| その他       | 35           | 53           | 35          | △17  |
| 流動負債合計    | 118          | 141          | 130         | △11  |
| 固定負債合計    | 8            | 8            | 8           | 1    |
| 負債合計      | 126          | 150          | 139         | △10  |
| 資本金・資本剰余金 | 1,175        | 1,164        | 1,165       | 1    |
| 利益剰余金     | 134          | 144          | 133         | △11  |
| 自己株式      | △219         | △201         | △194        | 7    |
| その他       | 5            | 3            | 12          | 9    |
| 純資産合計     | 1,095        | 1,111        | 1,117       | 6    |
| 負債・純資産合計  | 1,222        | 1,261        | 1,256       | △4   |

前払いしたライセンス費用の払い出しによる減少

第3四半期以降、のれん償却費は大きく減少する。

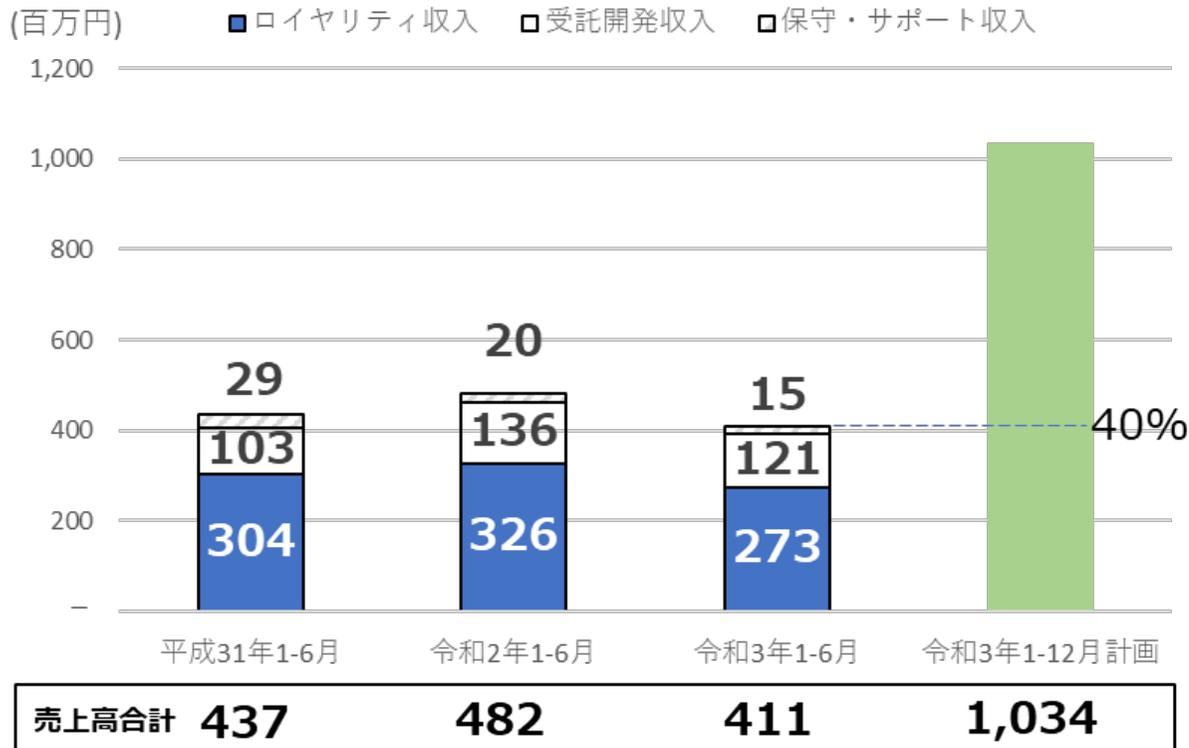
## (現金)

- ・ 現預金は、営業利益を2百万円計上したことに加え、減価償却費・のれん等の資金流出が伴わない費用があり、102百万円増加した。

## (純資産)

- ・ 株式報酬に伴う自己株式処分により、自己株式が7百万円減少した。

## 5. 形態別連結売上高推移



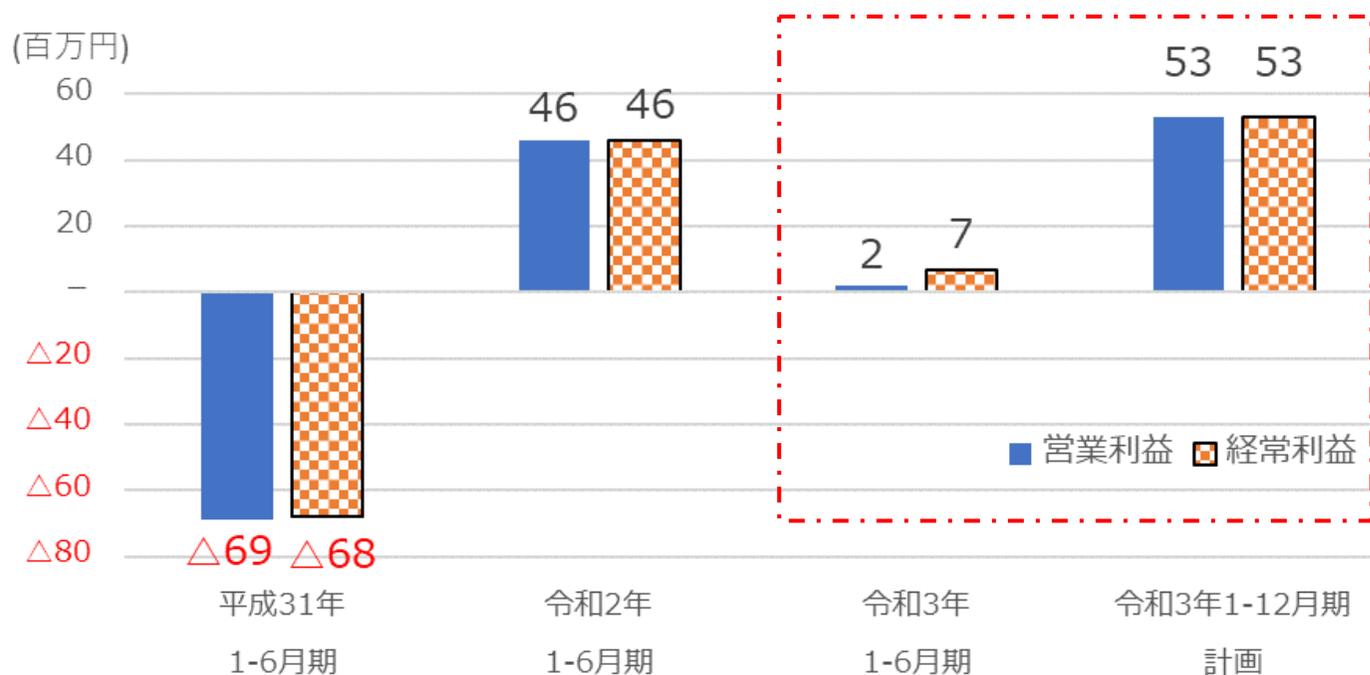
### (ロイヤリティ収入)

世界的な半導体の一時的な不足の影響から、当社ソフトウェアを搭載した顧客製品の出荷数が計画を下回ったこと、および3月出荷開始を計画していた顧客製品で5月出荷（販売も開始）になったものがあったことによりロイヤリティ収入全体が低調となった。

### (開発収入)

前年同期の開発案件の規模が大きかった反動があり、前年同期比では減収であった。

## 6. 連結営業利益・連結経常利益推移

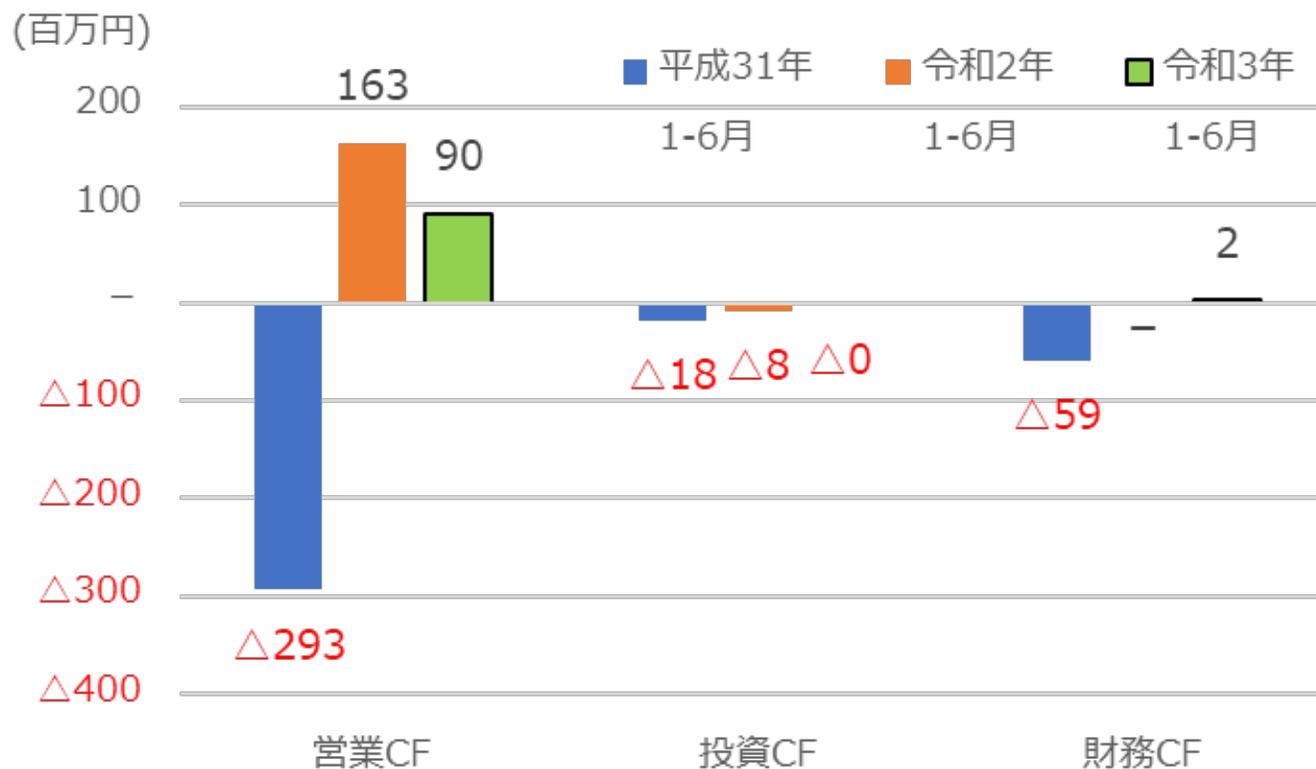


|      |     |    |   |    |
|------|-----|----|---|----|
| 営業利益 | △69 | 46 | 2 | 53 |
| 経常利益 | △68 | 46 | 7 | 53 |

### (営業利益・経常利益)

ロイヤリティ収入が振るわなかったことを主因として、減収幅が大きくなったことで、前年同期比で大幅な減益となった。

## 7. 連結CF概要



### (営業CF)

営業利益が減益であった影響で、営業CFは前年同期に比べ72百万円少なくなったが、90百万円のプラスであった。

本資料は、株式会社sMedio（以下、「当社」といいます。）の決算情報の説明のために作成されたものであります。

本資料に記載されている計画や見通し、将来展望などは、本資料作成時点において入手可能な情報に基づき、当社が合理的と考えるものであります。が、これらには、様々なリスクや不確実性が内在しています。

様々なリスクや不確実性には、既知のものもあれば、未知のものもあり、当社が発表している計画や見通し、将来展望、将来の業績などが、実際の業績などと異なる結果となる可能性があり、当社として、それらの実現を保証するものではありません。